

B コース

真如庵・常夜燈コース 46分 (3.6 km)



1 常夜燈

夜道の安全のため、街道沿いに設置されていた。碑文には「萬延元年(1860年)庚申十月」と書かれている。



3 真如庵

茶屋町の開拓に力を注ぎ、帯江新田百町歩千石の土地を開いた帯江の領主、戸川安廣公を祀る。



4 茶屋町公民館

生涯学習の場として講座やグループ活動の数が倉敷市内でも多く、図書もたくさんの方が利用している。



2 茶屋町小学校

「自ら学び考え、人間性豊かで、たくましく生きる力をもった児童を育成する」を掲げ、令和5年に創立150周年を迎えた。



防災備蓄保管庫

災害発生時に避難場所となる茶屋町公民館には、災害に備えた「防災備蓄保管庫」を設けています。

- 非常食
- 保存水
- 簡易トイレ
- 敷きマットや毛布
- 投光器
- トイレトーパー
- 発電機
- コードリール
- 組み立てテント(茶屋町地区協所有) …等



瀬戸大橋線で「アンパンマン列車」が見られるよ！

アンパンマンが列車になって茶屋町駅を通過するよ。岡山～琴平・高松間を走る「アンパンマントロッコ」も見られるかも！？(乗車は予約制)

運行情報などのお知らせはこちらから▶

JR 四国 アンパンマン列車

C コース

眠亀記念館・金毘羅宮コース 48分 (3.8 km)



1 磯崎眠亀記念館

岡山特産のい草を使った「錦莞蓆」を発明した磯崎眠亀。住宅兼作業場として明治7年(1874年)に建築されたもの。



2 茶屋町の鬼

200年以上前に起こった民俗文化が、茶屋町の鬼。「茶屋町の鬼保存会」が地域の発展と伝統を守っている。



「茶屋町の鬼保存会」とは？

茶屋町の鬼は、倉敷市茶屋町地区に200年以上前に起こった民俗文化です。様々な形相の鬼面に、家紋等をあしらった胸当て・手甲・脚絆(きやはん)の装束に派手なタスキを背中に垂らした姿で、杖やこん棒を持ち、神社の境内や茶屋町駅前に現れたり、お神輿とともに町内を歩き回ったりしていました。昭和50年(1975年)に「茶屋町の鬼保存会」が結成され、茶屋町の鬼の保存や推進を目的とした鬼装束の作成や管理、地域の催しへの参加や、茶屋町の鬼を中心としたイベントの企画・運営を行うようになりました。



3 金毘羅宮

「備中茶屋町今神戸」といわれた明治期、門前に芝居小屋、境内に露店街などが作られ、大変賑わっていた。



4 桜道歩道

下津井電鉄跡地の両側1kmに植えた桜が並木となり、通称「さくら並木」は市民の散歩道となっている。



5 五間樋排水機場

上流から流れてくる雨水をポンプを使って倉敷川へ排出される。元々は田んぼの水を調整するために使われていた。